

平成30年度
「四国地区大学教職員能力開発ネットワーク」
総 会

日 時:平成31年3月28日(木)13:00~14:30

会 場:愛媛大学城北キャンパス

総合情報メディアセンターメディアホール

主 催:四国地区大学教職員能力開発ネットワーク(SPOD)

平成30年度「四国地区大学教職員能力開発ネットワーク」総会次第

日 時： 平成31年3月28日（木） 13:00～14:30

場 所： 愛媛大学城北キャンパス 総合情報メディアセンター1階 メディアホール

開 会

会長挨拶 大橋 裕一 学長（愛媛大学）

【議 題】

1. 平成30年度「四国地区大学教職員能力開発ネットワーク」事業の総括について 【資料1】
2. 平成30年度事業収支及び会計監査について 【資料2-1～3, 参考資料1】
 - (1) 平成30年度事業収支について
 - (2) 平成30年度会計監査について
3. 「四国地区大学教職員能力開発ネットワーク」への新規加盟について 【資料3-1～2, 参考資料2】
4. 共同事業契約書の変更合意について 【資料4, 参考資料3】
5. 役員の改選について 【資料5-1～3, 参考資料2】
6. 平成31年度事業計画について 【資料6】
7. 平成31年度事業予算及び平成31年度共同事業契約における役割分担等について 【資料7-1～2, 参考資料2～3】
 - (1) 平成31年度事業予算について
 - (2) 平成31年度共同事業契約における役割分担等について
8. その他
 - (1) SPOD事業評価委員会委員について 【資料8, 参考資料4】
 - (2) 平成30年度各加盟校のFD/SD活動の取組報告について 【資料9】
9. 意見交換

閉 会

平成30年度「四国地区大学教職員能力開発ネットワーク」総会資料一覧

資料1	平成30年度「四国地区大学教職員能力開発ネットワーク」事業の総括について	P. 1
資料2-1	平成30年度「四国地区大学教職員能力開発ネットワーク」事業収支報告書(案)	P. 19
資料2-2	平成30年度「四国地区大学教職員能力開発ネットワーク」事業経費支出内訳(案)	P. 21
資料2-3	監査報告書(写)	【当日配付】
資料3-1	四国地区大学教職員能力開発ネットワークへの加盟について (高知リハビリテーション専門職大学申請書)	P. 25
資料3-2	四国地区大学教職員能力開発ネットワーク規約 別表第1(第4条関係)の 変更について	P. 27
資料4	共同事業契約書の変更合意について(案)	P. 29
資料5-1	「四国地区大学教職員能力開発ネットワーク」役員等の改選について(案)	P. 31
資料5-2	「四国地区大学教職員能力開発ネットワーク」における監事の選出について(案)	P. 33
資料5-3	「四国地区大学教職員能力開発ネットワーク」役員名簿(平成31年4月1日現在)(案)	P. 35
資料6	平成31年度SPOD事業計画(案)	P. 37
資料7-1	平成31年度「四国地区大学教職員能力開発ネットワーク」事業予算(案)	P. 39
資料7-2	平成31年度共同事業契約における役割分担等について(案)	P. 43
資料8	SPOD事業評価委員会委員について	P. 47
資料9	各加盟校におけるFD/SD活動の取組報告	P. 49
参考資料1	「四国地区大学教職員能力開発ネットワーク」会計監査実施要領 ※議題2参考資料	P. 51
参考資料2	四国地区大学教職員能力開発ネットワーク規約 ※議題3, 5, 7参考資料	P. 53
参考資料3	共同事業契約書 ※議題4及び議題7参考資料	P. 57
参考資料4	「四国地区大学教職員能力開発ネットワーク」事業評価委員会要項 ※議題8参考資料	P. 65



四国地区大学教職員能力開発ネットワーク

SPOD = Shikoku Professional and Organizational Development Network in Higher Education

平成 30 年度 四国地区大学教職員能力開発ネットワーク 事業総括

「四国地区大学教職員能力開発ネットワーク」
総会

平成31年3月28日

四国地区大学教職員能力開発ネットワーク

企画・実施統括者 小林 直人

(愛媛大学学長特別補佐／教育・学生支援機構 教育企画室長)

内 容

1. SPOD事業の概要
2. SPODの運営体制
3. 平成30年度事業の総括
 - (1) 事業計画
 - (2) 各事業の取組の成果
 - (3) 事業評価
 - (4) 総括

1. SPOD事業の概要

四国地区の高等教育機関が連携してネットワーク事業を展開することにより、域内のFD／SD事業の効率化、高度化、実質化を行うとともに、学生の豊かな学びと成長を支援する実践的力量をもった高等教育のプロフェッショナルを輩出し、教育の質の保証を図ることを目的に**平成20年10月に設立**

- ・平成23年度から自主運営体制により事業を継続
- ・平成30年に**設立10周年**を迎える。
- ・四国地区の高等教育機関**34校**が加盟
(平成30年4月に岡山理科大学獣医学部、人間環境大学
松山看護学部の2校が新規加盟)
- ・FD・SDにおける地域間大学連携のモデル事業
- ・加盟校の教職員**延べ約2,400名(3割以上)**が
SPODプログラムに参加(※平成30年度実績)



3

2. SPODの運営体制

SPOD役員名簿

(平成30年4月1日現在)

会 長	大橋 裕一	愛媛大学長
副会長	野地 澄晴	徳島大学長
副会長	筧 善行	香川大学長
副会長	櫻井 克年	高知大学長
監 事	田村 禎通	徳島文理大学・ 徳島文理大学短期大学部学長
監 事	濱中 俊一	高知工業高等専門学校長

企画・実施統括者 小林 直人

愛媛大学学長特別補佐 教育・学生支援機構 教育企画室長

4

SPOD加盟校

【愛媛】14校

(大学⑦)
愛媛大学(国), 愛媛県立医療技術大学(公),
聖カタリナ大学(私), 松山大学(私), 松山東雲女子大学(私)
岡山理科大学獣医学部(私), 人間環境大学松山看護学部(私)
(短期大学⑤)
今治明德短期大学(私), 環太平洋大学短期大学部(私)
松山東雲短期大学(私), 松山短期大学(私),
聖カタリナ大学短期大学部(私)
(高等専門学校②)
新居浜工業高等専門学校(国), 弓削商船高等専門学校(国)

【香川】6校

(大学③)
香川大学(国), 香川県立保健医療大学(公)
高松大学(私)
※徳島文理大学香川キャンパス
(短期大学②)
香川短期大学(私), 高松短期大学(私)
(高等専門学校①)
香川高等専門学校(国)

34校（四国地区の高等教育機関）が加盟

大学17^{*}, 短期大学12, 高等専門学校5 (平成30年4月現在)

※四国地区に一部の学部等を置く大学を含む。この場合、学部等单位での加盟となる。

【高知】6校

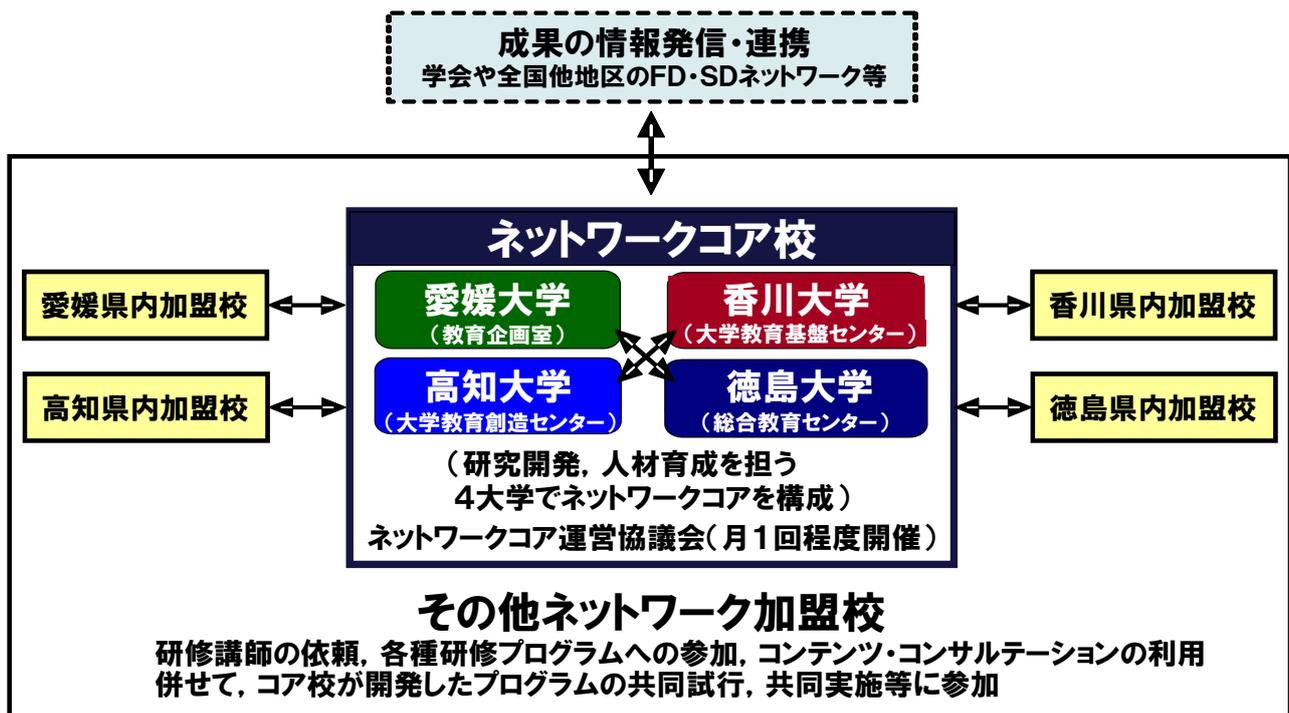
(大学③)
高知大学(国), 高知県立大学(公),
高知工科大学(公)
(短期大学②)
高知短期大学(公)
高知学園短期大学(私)
(高等専門学校①)
高知工業高等専門学校(国)

【徳島】8校

(大学④)
徳島大学(国), 鳴門教育大学(国),
四国大学(私), 徳島文理大学(私)
(短期大学③)
四国大学短期大学部(私), 徳島工業短期大学(私),
徳島文理大学短期大学部(私)
(高等専門学校①)
阿南工業高等専門学校(国)

5

ネットワーク運営体制

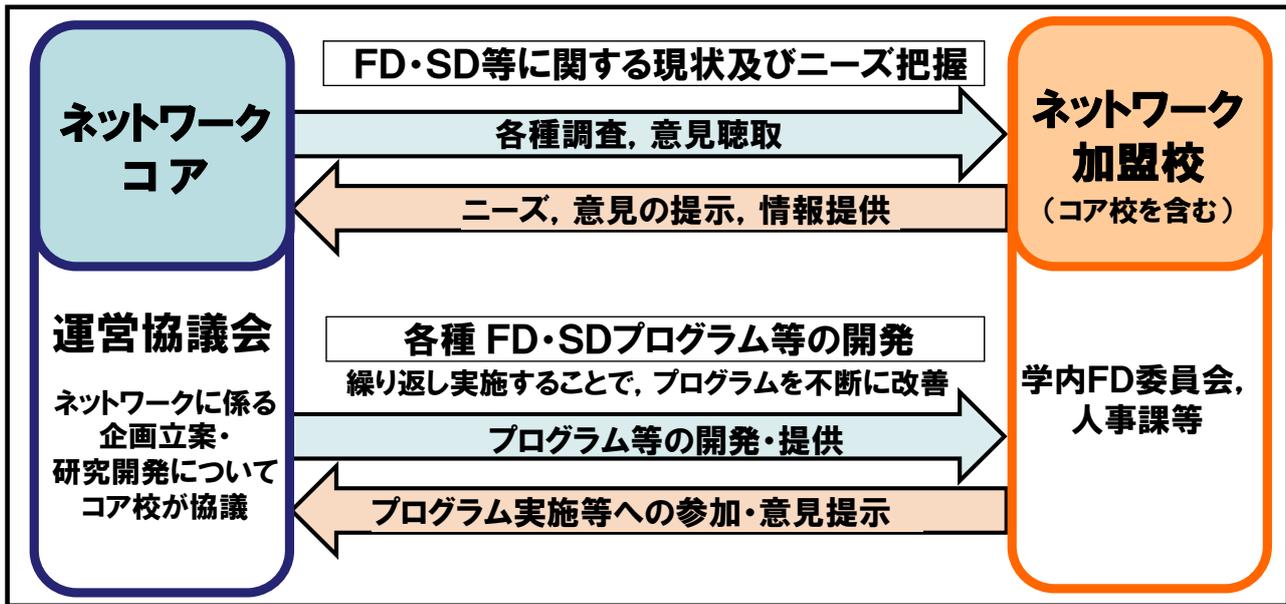


【四国地区大学教職員能力開発ネットワーク】

6

【 連携内容 】

① ネットワークコア，加盟校間での連携



② 加盟校相互での連携

研修講師派遣, 先進事例実地調査, 遠隔会議システム等を活用した
情報交換 等

7

3. 平成30年度事業の総括

(1) 事業計画

(計画内容)

1. SPOD共通事業

- ・ SPODフォーラム
- ・ SPOD内講師派遣
- ・ FD/SDに関する調査・研究
- ・ SPOD将来構想, 情報提供サービス など

2. FD事業

- ・ FD担当者研修
- ・ 新任教員研修
- ・ ティーチング・ポートフォリオ作成ワークショップの実施 など

3. SD事業

- ・ 大学人・社会人としての基礎力養成プログラムの実施
- ・ 次世代リーダー養成ゼミナールの実施
- ・ 職員のための講師養成講座の実施 など

4. SPOD運営

9

(2) 各事業の取組の成果

1. SPOD共通事業

- ① SPODフォーラムの実施
- ② SPOD内講師派遣プログラムの実施
- ③ FD/SD調査研究の実施
- ④ SPOD将来構想
- ⑤ 情報提供・広報活動

2. FD事業

- ⑥ FD担当者研修の開発・実施
- ⑦ 新任教員研修の開発・実施
- ⑧ 教育業績記録(ティーチング・ポートフォリオ:TP)の実施

3. SD事業

- ⑨ SDプログラムの体系的・段階的・継続的实施
- ⑩ 次世代リーダー養成ゼミナールの実施
- ⑪ 職員のための講師養成講座の実施
- ⑫ SPOD-SDC (SDの実践的指導者) の認定

4. SPOD運営

- ⑬ ネットワークコア運営協議会/県内加盟校会議

10

① SPODフォーラムの実施

- ・ その場でのスキルアップにつながる実践的プログラムを3日間で集中的に提供
- ・ 大学等の教職員の能力開発に役立つ多種多様なFD/SDプログラム及び組織を越えた持続的な相互交流・関係づくりの場を提供

10回目！「SPODフォーラム2018」

※香川大学初開催
→ 四国4県全てでの開催が実現

- 【日時】 2018年8月29日(水)～31日(金)
- 【会場】 香川大学幸町北キャンパス
- 【テーマ】 「教職員のミニマムエッセンシャルズを考える」
- 【参加者】 463名(延べ1,590名)※うちSPOD加盟校外:188名
- 【プログラム数】 40プログラム

※ポスターセッションも開催(今回で4回目)

【事後全体アンケート】 ※フォーラム終了3週間後にWEB実施

- ・ 回答者の97.6%が「満足」と回答
- ・ 知識やスキルの習得及びそれらの現場での活用、意識改革、人脈づくり等の各項目で肯定的回答が8割を超える好結果
- ・ 今回は、加盟校内外別、設置者別、規模別にアンケート結果を分析



■ SPODフォーラム2019は、3年ぶりに愛媛大学で開催予定

- 【日時】 2019年8月28日(水)～30日(金)
- 【会場】 愛媛大学城北キャンパス
- 【テーマ】 「大学教育の組織力」

11

② SPOD内講師派遣プログラムの実施

- ・ SPODに加盟するメリットとして、40以上のプログラムの中から各加盟校が希望するプログラムについて、研修講師を1法人あたり年1回無料で派遣

■ 平成30年度SPOD内講師派遣プログラムの実績

【派遣機関:24機関, 派遣講師:13名, 受講者数:1,064名】

- ・ 各加盟校におけるFD・SD活動等の方針に沿った活用ができるよう、実施プログラム決定にあたって事前調査を実施。
- ・ 受講者数は年々増加(昨年度より200名以上増)
- ・ 近隣の加盟校で実施するプログラムに開催校以外から参加するケースも増加
- ・ 複数回開講(2回目以降の経費は加盟校負担)を希望する加盟校も増加→学内研修の企画・立案に活用



「クレーム対応実践」
(平成30年7月3日 香川短期大学)

- ・ 加盟校からの評価が高く、特に小規模校の参加率が高い。
- ・ 教育改善や組織への波及効果が示唆される。
→ 各校の実情に即したプログラムを提供できるよう見直しを行いながら、今後も継続的に実施

※平成30年7月豪雨や台風への対応

「SPOD内講師派遣事業において台風や災害等不測の事態が発生した場合の取扱いについて」を7月中に制定、各加盟校へ通知

12

② SPOD内講師派遣プログラムの実施

共通事業

■平成30年度SPOD内講師派遣プログラム一覧 ※今年度開講プログラムに色づけ

カテゴリ	No.	プログラム名	カテゴリ	No.	プログラム名	
コンサルテーション	1	SPOD課題発見コンサルテーション		22	コーディネート力養成講座	
カリキュラム改善	2	3つのポリシー(ディプロマポリシー, カリキュラムポリシー, アドミッションポリシー)の開発と一貫性構築手法		23	マインドマップ入門講座 (3時間)	
授業改善・教授法	3	学生の学びを促すシラバスの書き方	業務改善	24	後輩の成長を促すコーチング	
	4	もっとわかりやすくするグラフィック・シラバスの作成方法		25	リーダーシップ入門	
	5	発達障がいのある学生にもわかりやすい授業づくり		26	チームビルディング	
	6	学生の学ぶ意欲を引き出す授業とは？		27	教学IR入門	
	7	受講生が楽しく集中して参加する授業の雰囲気作り		28	クレーム対応実践	
	8	大人数講義を魅力的にするテクニック		29	タイムマネジメント入門	
	9	アクティブラーニング実践(試験紙法)		30	職員のための経験学習	
	10	アクティブラーニング実践(成功のためのアイスブレイキング)		31	組織の力を引き出す観察力養成講座	
	11	アクティブ・ラーニング入門		人材育成・人事制度	32	スタッフ・ポートフォリオ入門 ～職員と大学が共に輝くために～
	12	効果的なeラーニングの活用方法			33	持続可能なSDプログラムの開発手法
13	基礎から学ぶ学習評価法	34	人事人材育成ビジョンの必要性			
14	授業アンケートを見直しませんか？ ～アンケートの効果的実施と活用方法～	35	高等教育機関の職員に必要な能力と専門性			
15	ティーチング・ポートフォリオ入門 ～教育実践のリフレクション～	学生支援	36		学生の自立を促す学生支援の実践とコツ	
高専向け	16		高専教育スキルの共有と伝承 ～私たちは、いかに学生を育むのか～	37	学生の主体性を促す学習支援	
	17		今すぐ役立つ授業Tips アクティブラーニングのスタート	38	学びを促進する学習支援とアカデミック・アドバイジング	
	18		講義VTR簡単作成ワークショップとアクティブ・ラーニングへの活用	39	現代学生の理解と関わり方	
業務改善	19		職員のための企画力養成講座	40	障がいのある学生の理解と支援	
	20	若手・中堅職員のための判断力・決断力養成講座	危機管理	41	事例から考えるハラスメント	
	21	インストラクショナル・デザイン(ID/教育設計)を活用した企画・立案マネジメント		42	教職員のための危機管理	
			事例紹介	43	学生が輝くFDの実践事例	

13

③ FD/SD調査研究の実施

共通事業

(1) FD専門部会

- ・ SPODのスケールメリットを活かし、各コア校の保有する教材や参考情報などの「共有可能なツール」を収集、コア校間で共有
- ・ 既存の教材等の活用により、最小限の負担で教材等の新規開発や見直しを行うことを目的として実施

(2) SD専門部会

【目的】・どのようにSPOD事業が継承されているのかを検証

【方法】・立場の異なるSPOD事業関係者にインタビュー調査
→ 質的手法により分析

【結果】・事業を継承する上で、役職の階層ごとに役割が存在
・ 日常業務の履歴を後任にも分かりやすい形で残す
組織習慣や記述及び口述によるマニュアルが存在
→ 事業継承における重要点が明らかになった。

※大学行政管理学会で成果発表を実施

14

SPODの将来構想(平成28年3月24日SPOD総会決定)

【目的】

SPODの今後の取組, 目的等将来構想に関する事項について検討する。

● 長期的方針 ※～平成35年度

1. SPODという名称は継続的に使用する
能力開発の地域ネットワークのリーダーとしてプレゼンスを高めていく
2. SPODフォーラムを国内最高の教職員研修の機会にする
既存のFD・SDプログラムをフォーラムに集約する
ポスターセッションなどの相互研修機能を強化する
3. SDの取り組みを発展させる
SD義務化などの政策へ対応する
SDのプログラムおよび教材を開発する
講師派遣事業を行う
4. FDの取り組みは焦点化して取り組む
SPODフォーラムにおいて多様なFDを提供する
各加盟校でのFD担当者の養成を支援する
加盟校で実施するプログラムを公開する
5. 持続可能なSPODの組織体制を構築する
各加盟校のFD, SD戦略に組み込む
長期的にSPODフォーラムの開催校を確定する
安定的な財政基盤を維持する

15

● 中期的方針 ※～平成29年度

FD・SD共通

- FS-1 SPODフォーラムの開催
- FS-2 コンサルティング・講師派遣事業
- FS-3 FD・SDに関する調査研究
- FS-4 情報提供サービス

FD

- F-1 FD担当者の養成
- F-2 新任教員研修の実施, 公開
- F-3 ティーチングポートフォリオ研修の実施
- F-4 各加盟校におけるプログラムの公開

SD

- S-1 SDプログラムの体系的・段階的・継続的实施
- S-2 次世代リーダー養成プログラムの実施
- S-3 SD講師養成によるSPOD-SDの継続的な実施
- S-4 SPOD-SDCの輩出

S-1 SDプログラムの体系的・段階的・継続的实施

- (a) 大学人・社会人としての基礎力養成プログラムの実施

職務遂行力(テクニカルスキル), 人間力(ヒューマンスキル), 管理・運営力(マネジメントスキル), 等を養成するプログラム

- (b) 職務別能力養成プログラムの実施

学務系職員, 社会連携系職員, 国際連携系職員等に必要な能力を養成するプログラム

S-2 次世代リーダー養成プログラムの実施

次代のトップリーダーとして大学等の経営を担うために必要な「理論」「技能」「態度」を段階的に学び・修得する140時間を超える総合研修プログラム

S-3 SD講師養成によるSPOD-SDの継続的な実施

自律(立)的運営を目指し, SPOD-SDプログラムにより知識・技能・態度を身につけた職員自らが, 次のSPOD-SDプログラムの講師となるサイクルの確立

S-4 SPOD-SDCの輩出

自大学のSD活動を振り返り, 強みと課題を理解したうえで, 新しい情報や他者からの助言を参考に課題の解決策を見出せるSDの実践的指導者(SDコーディネーター/SDC)の養成

16

④ SPOD将来構想

【長期的方針への対応状況（平成30年度）】

長期的方針2. SPODフォーラムを国内最高の教職員研修の機会にする

- ・職務別能力開発研修を始めとした各種プログラムのSPODフォーラムへの取り入れ
- ・「FD担当者研修」に加え、「SD担当者研修」も実施

長期的方針3. SDの取り組みを発展させる

- ・昨年度実施したアンケートを基に、「大学人・社会人としての基礎力養成プログラム研修」の構成や講義時間等を見直して実施
- ・SPOD－SDC資格取得候補者等を対象に「フォローアップセミナー」を開講
- ・徳島大学、聖カタリナ大学から初のSPOD－SDC資格認定者を輩出

長期的方針4. FDの取り組みは焦点化して取り組む

- ・「FD担当者研修」をSPODフォーラム内で実施することで効率的にFD担当者を支援

長期的方針5. 持続可能なSPODの組織体制を構築する

- ・SPODフォーラム四国地区各県持ち回りの達成
- ・加盟校教職員の利便性を高め、印刷物の経費を抑制するため、研修プログラムガイド及びSPODホームページの見直しを実施

→長期的方針1「SPODという名称は継続的に使用する」「能力開発の地域ネットワークのリーダーとしてのプレゼンスを高めていく」ための取り組みを今後も継続

17

⑤ 情報提供・広報活動

加盟校教職員の利便性を高めるため、

研修プログラムガイド及びSPODホームページの見直しを実施

- ・研修プログラムガイド：冊子版からリーフレット版に変更
 - 従来よりも約1ヶ月早く加盟校教職員の手元に配付 [4月初旬]
- ・ホームページ：研修プログラム検索機能の高度化
 - 開催年度、開催地、対象者、フリーワード等による検索が可能に。

(1) 研修プログラムガイド2018

- ・SPOD内で開催され、かつ加盟校教職員が相互に参加可能なFD/SDプログラムを網羅的に掲載。
- ・加盟校内教職員約7,000名に配付し、情報共有・参加を促す。



(2) SPODホームページ

- ・SPODフォーラム、SPOD加盟校内の実施プログラム及び活動報告、会議の議事概要等について掲載し、加盟校内の情報共有を図る。



(3) 平成30年度活動報告書

- ・加盟校内で実施したプログラムの実施内容・効果、各加盟校のFD/SD活動等を掲載した冊子を作成し各加盟校に配付。
- ・事業評価委員会の資料としても活用し、同内容をホームページにも掲載。

18

⑤ 情報提供・広報活動

共通事業

(4) SPODメールマガジン

- ・SPODフォーラムやSPODに関する各種情報を発信。登録者約300名(全加盟校SPOD事務担当者を含む。)に対し、月1回程度(今年度は8回)配信。

(5) 各種学会等での事例発表

■ 第22回大学行政管理学会研究集会において事例発表「SD専門部会調査研究内容」

日時:平成30年9月2日 場所:桜美林大学 発表者:上畠 洋佑, 吉田 一恵(愛媛大学)
タイトル:「愛媛大学のSD事業はなぜ継承できているのか?」

(6) 新聞や機関誌への掲載

■ 教育学術新聞

「SPODフォーラム2018」の記事(平成30年9月12日付け)及び「大学人・社会人としての基礎力養成プログラム研修(レベルIII)」の記事(平成30年10月3日付け)掲載

■ IDE - 現代の高等教育(2018年11月号)

「四国地区大学教職員能力開発ネットワーク(SPOD)-10年間の活動と課題」の記事掲載

(7) 訪問調査

- ・他地区のFD・SD推進組織から訪問調査を受け、SPOD運営体制に対する情報交換を実施

SPODの成果は全国的にも注目されており、各種学会等をはじめ新聞や機関誌でもSPODの取組が取り上げられるなど、広く情報提供・発信を行っている。

19

⑥ FD担当者研修の開発・実施

FD事業

「FD担当者研修－問題解決のためのFDを設計する－」

目的:FDを企画・運営・評価するために必要となる基礎的な知識と技能を習得できるよう、各加盟校におけるFD担当者の養成を支援

日時:平成30年8月31日(金)

会場:香川大学幸町北キャンパス

※SPODフォーラム2018のプログラム(2コマ連続プログラム)として実施

→効率的にFD担当者を支援

- ・参加機関数:23機関(うち加盟校外15機関)
- ・参加者数:30名(うち加盟校外18名)

※次年度もSPODフォーラムのプログラムとして実施予定

●受講者からの声

- ・具体的事例(成功例)を基に改善へのプロセスが学べた。
- ・全体的に「FD」というものを見直す機会となりました。
- ・「FD」を狭く捉えず、いろいろな側面から考えることができるようになりました。活用できそうなものから優先的に実行してみます。



20

新任教員研修

目的：授業の構想・設計・実施・評価に関わる一連の過程をグループワーク形式で体験し、授業実践のために必要な能力を身につける。

特徴：どのコア校が主催する研修を受講しても同様の効果を得られるよう、**コア校間でプログラムを標準化**

実績：各コア校主催で計5回開催（愛媛大学2回、徳島大学1回、香川大学1回、高知大学1回）、加盟校21校（延べ）から86名が参加
→ 事後アンケートでは、参加者全員から「満足」の回答を得る。

・徳島大学：「反転授業」形式を取り入れる → 効率的に受講できると好評

・高知大学：台風のため日程を短縮 → レポート等による代替措置を実施



●受講者からの声

- ・複数名で1つのシラバスや授業案を創り上げることは難しいが、自分では気付かない新たな視点について学べた。
- ・これまでアイスブレイクをなんとなくやってきたが、学生にとって安心・安全な環境を作るために、よく練って検討し準備する必要があると感じた。

21

⑧ 教育業績記録(ティーチング・ポートフォリオ:TP)の実施

「ティーチング・ポートフォリオ作成ワークショップ」

目的：ティーチング・ポートフォリオ（TP）を作成することにより、教育力向上を目指す。

実績：愛媛大学にて2回開催、加盟校内外3校から22名が参加

① 教員対象

【日時】平成30年7月7日(土)～8日(日)

【会場】愛媛大学 【参加者】18名

② 高専対象

【日時】平成30年9月5日(水)～7日(金)

【会場】愛媛大学 【参加者】4名（うち加盟校外1名）

●受講者からの声

- ・自分の教育活動を初めて文書化し、体系的にまとめることができた。
- ・どのような学びを提供するのか、何のために授業をするのかということだけでなく、そもそもなぜ大学で教える必要があるのかまで考える機会があり、今後の授業や教育の基本理念を意識するきっかけになった。



22

⑨ SDプログラムの体系的・段階的・継続的实施

SD事業

「大学人・社会人としての基礎力養成プログラム研修(レベルⅠ～Ⅲ)」

目的：高等教育機関の職員として一般的に求められている広範な素養を習得

実績：レベル別の研修を計4回開催し、加盟校42校(延べ)から160名が参加

→ 事後アンケートでは、参加者の99.6%から「満足」の回答を得る。

※次世代リーダー養成ゼミナール修了生や講師養成講座修了者等が講師を務める。

■ 昨年度実施したアンケートを基に、プログラム構成・講義時間等を見直して実施

・レベルⅠは5月(新任職員研修)と11月の2回受講で、レベルⅡとレベルⅢは各1回の受講で、各レベルの全プログラム修了が可能となった。

・昼休憩の時間を情報交換の時間として位置づけ、受講者間の交流を促進

・研修実施要項をチラシ形式に変更し、研修目的等がより分かりやすく伝わるよう改善

→ 講師間で振り返りを行い、次年度に向けて更なる改善を加える予定

■ 事前課題の効果

・事前課題を課したプログラムは、受講後の到達目標達成度が高くなる傾向が見られた。

■ その他プログラム(SPODフォーラムで実施)

・「SD担当者研修ー戦略的な人材育成をするためにー」

・職務別能力開発プログラム(国際連携系、学務系等)

→ 幅広いニーズに対応



23

⑩ 次世代リーダー養成ゼミナールの実施

SD事業

「次世代リーダー養成ゼミナール」

目的：将来、トップリーダーとして大学等の経営を担うために必要な知識、技能、態度を身につけた人材を養成

受講者：8期生4名、9期生6名(計10名)※今期から技術職員も参加

特徴：① 2年間で8回実施(1回2～3日間)

② 「講義」「プロジェクト」「SD実践・演習」の3つの柱で構成

③ 受講生による発表や討論を行う時間を十分に設定

※受講者は、毎回課される課題をこなす必要がある。

→ 各自が企画・実施したプロジェクトに関する最終プレゼン及びプロジェクト実践レポートの提出並びに口頭試問を経て修了となる。

※高等教育の第一人者を講師に招く → 加盟校内教職員にも開放

① 第1回(第5回) 平成30年5月30日(水)～6月1日(金) [会場:愛媛大学]
主なプログラム: 開講式, メンタリング(8期生→9期生), 講義「大学職員論」

② 第2回(第6回) 平成30年7月19日(木)～7月20日(金) [会場:高知大学]
主なプログラム: SD実践(8期生による模擬講義), 講義「学生支援論」

③ 第3回(第7回) 平成30年10月31日(水)～11月2日(金) [会場:愛媛大学]
主なプログラム: SD実践(8期生による講義), 9期生プロジェクト発表・決定

④ 第4回(第8回) 平成31年1月24日(木)～1月25日(金) [会場:徳島大学]
主なプログラム: 8期生プロジェクト発表, 口頭試問, セミ指導, 修了式

24

⑩ 次世代リーダー養成ゼミナールの実施

SD事業

第8期生4名が修了 ※修了生(1~8期生) 合計 **58** 名

【修了生の実績】

- ・ゼミナールでの経験を活かし、学内の様々な業務の企画・実施を行う。
- ・「大学人・社会人としての基礎力養成プログラム研修」等の講師を務める。
- ・積極的にSPOD-SDC (SDの実践的指導者)の資格を取得。

【プロジェクト紹介(8期生)】

大学における専門用語の情報共有による業務の質向上に向けた取り組み —大学版Wikipediaの構築を通して—	徳島大学 地方大学・地域産業 創生事業室 竹重 和也
障がい支援の理解及び実践力の向上に関する取り組み —ワークショップと書籍紹介を通して—	愛媛大学総務部 就業環境推進室 高木 佳代子
大学職員の資質能力の向上に向けて —資質能力向上のための研修制度構築—	四国大学 総務・企画部総務課 藤本 賢一
AO入試の見直しと高大接続プログラムの作成・実施	徳島文理大学 教務部教務課 藤本 正己



25

⑪ 職員のための講師養成講座の実施

SD事業

「職員のための講師養成講座」

目的：研修プログラムの講師ができる職員の育成

日時：平成30年9月5日(水)~7日(金)

会場：愛媛大学 参加者：加盟校3校から4名

成果：過去の修了者が各種SD研修の講師を務めている。

【先輩職員がSD研修講師を担うメリット】

- ・職員としての自身の経験を研修に取り入れることで、受講者が職場での適用イメージを想像しやすい。
- ・受講者が講師をロールモデルとして捉え、自分の将来像を描きやすい。

※ 教員対象の「授業デザインワークショップ」と一部合同でプログラムを実施
→ 次年度は、SPODフォーラムのプログラムとして実施予定



●受講者からの声

- ・研修を行う上でのプログラムの組み立て方やプレゼンを行う講師側のマナーを習得できた。
- ・研修講師を務める際に必要な心構えや知識、技能について講義やワークを通して学べた。

26

⑫ SPOD—SDC の認定

SD事業

「SPOD—スタッフ・ディベロップメント・コーディネーター(SPOD—SDC)」

趣旨：SDに関する知識・技術を修得し、自大学及びSPOD加盟校におけるSDの実践的指導者として適切な能力を有すると認められる者を認定

【平成30年度新規認定者：6名（認定者合計：25名）】

＜初＞徳島大学 1名，＜初＞聖カタリナ大学 1名，愛媛大学 4名

- ・各加盟校が「SDの義務化」に対応し、自校のSD事業を推進できるよう、SPOD—SDC資格取得者の輩出を積極的に支援
- SPOD—SDC資格取得候補者等を対象に「フォローアップセミナー」を実施
- 徳島大学，聖カタリナ大学から初の資格認定者を輩出
- ・今後も幅広い加盟校からのSPOD—SDC輩出を目指す。



【SPOD—SDC資格認定基準】

1. SPOD—SD(又は自大学におけるSD)講師を務めることができる。
2. 職員のキャリアプランニングをサポートすることができる。
3. 大学等における職員人材育成ビジョンの構築方法について説明することができる。
4. 大学等におけるSDプログラムの企画・立案ができる。
5. スタッフ・ポートフォリオの有益性を説明することができる。

27

⑬ ネットワークコア運営協議会／県内加盟校会議

運営

ネットワークコア運営協議会

- ・コア校のFD・SD担当者等が事業の実施，運営上の諸課題等について教職協働で協議（月1回程度）

【平成30年度開催実績】

- ネットワークコア運営協議会：7回開催（うち2回は愛媛大学にて対面開催）
- FD専門部会：3回開催
- SD専門部会：4回開催
- 県内加盟校会議：1回開催（徳島県）



＜運営面での透明性を高めるための改善措置＞

- 従来的一般用ページへの議事概要及び資料(一部を除く)の公開に加え，平成30年度から，原則として全資料を加盟校専用ページに掲載

28

(3) 事業評価

SPOD事業評価委員会

目的：外部有識者の委員3名が、SPOD事業に対する評価を行い、その評価結果を基に事業を改善する。

【委員】(任期:平成29年4月1日～平成31年3月31日)

福島 一政 追手門学院大学 副学長

佐藤 浩章 大阪大学 全学教育推進機構教育学習支援部 准教授

桂 良彦 公益財団法人 大学コンソーシアム京都 事務局長

(敬称略)

平成28年度事業評価委員会委員からの指摘を受け、「SPOD事業評価の在り方」について平成29年度から見直しを行った。

・各委員がより深くSPOD事業について把握できるよう、

SPOD事業視察の場を提供

・任期1年目(昨年度):各委員の専門性を活かした評価 (書面)

・任期2年目(今年度):視察等を踏まえた事業評価を実施 (対面)

29

(3) 事業評価

平成29年度の事業評価委員会委員からの意見・評価

(各委員への個別の質問内容)

- ① 国全体の教育政策動向を踏まえてSPODに期待すること
- ② 現在のSPODに対する客観的な視点での意見
- ③ SPODフォーラム視察を踏まえたSPODへの全体的な意見

・地域間大学連携のモデルになる取組である等、総じて高評価

・いただいた意見への対応 → 概ね対応済

【対応状況】

- ・各種研修プログラムに意見取り入れ → 研修内容の充実化
- ・SPODフォーラム事後アンケートを多様な観点から新たに分析 → フォーラムの活用のされ方や今後の方向性等についての示唆が得られた。

【今後の主な課題】

・広報活動の拡充

①[学術的アプローチ] 学会発表等による研究成果の発信

②[社会的アプローチ] 「入口(入試)」と「出口(就職)」の両面に向けての発信

→ SPODを活用して教職員能力開発に取り組んでいる=アピール材料

→ SPOD全体で広報活動を推進していきたい。

30

(3) 事業評価

平成30年度の事業評価委員会委員からのコメント

1. 本事業への全体的なコメント

- ・設立10周年の年を再出発の年と位置づけ、既存事業の見直しを含めてSPOD事業をさらに推進していただくことを期待する。
- ・SPOD事業は、四国外からも注目されており、FDとSDを併せて実施している貴重な取組であるため、全国だけでなく海外に向けた発信も検討していただきたい。

2. 今後の提案事項

- ・四国内の優良事例を中心として、「四国での学びの魅力」を受験生や企業向けにもっと発信してもよいのではないか。
- ・FD・SD研修の受講後フォローアップの強化を検討してみてもよいのではないか。
- ・今後も高等教育の政策動向を踏まえ、常に新しい試みを続けてほしい。

31

(4) 総括

■平成30年度事業

- ・新規加盟校2校を迎え、34校の新体制で再スタート
- ・計画どおり順調に進展
- ・SPOD将来構想長期的方針実現に向けた体制を整備
- ・不測の事態発生時の取扱いについて検討



皆様のご協力により

設立10周年を迎えました。

32

加盟校の連携により、今年度も様々な
成果を上げることができました。
厚く御礼申し上げます。
今後も引き続き、SPOD事業に対する
ご協力をよろしくお願いいたします。



平成30年12月21日

四国地区大学教職員能力開発ネットワーク会長
(国立大学法人愛媛大学長) 大橋 裕一 殿

学校法人 高知学園
理事長 吉良 正人



四国地区大学教職員能力開発ネットワークへの加盟について（申請）

平成31年4月1日付けで開設予定の学校法人高知学園高知リハビリテーション専門職大学は、四国地区大学教職員能力開発ネットワークの目的及び事業に賛同し、四国地区大学教職員能力開発ネットワークへの加盟を希望しますので、よろしくお取り計らい願います。

四国地区大学教職員能力開発ネットワーク規約 別表第1(第4条関係)の変更について

平成31年4月1日現在

別表第1 加盟校

徳島大学
鳴門教育大学
香川大学
愛媛大学
高知大学
香川県立保健医療大学
愛媛県立医療技術大学
高知県立大学
高知工科大学
四国大学
徳島文理大学
高松大学
聖カタリナ大学
松山大学
松山東雲女子大学
高知リハビリテーション専門職大学
高知短期大学
四国大学短期大学部
徳島工業短期大学
徳島文理大学短期大学部
香川短期大学
高松短期大学
今治明德短期大学
環太平洋大学短期大学部
聖カタリナ大学短期大学部
松山東雲短期大学
松山短期大学
高知学園短期大学
岡山理科大学獣医学部
人間環境大学松山看護学部
阿南工業高等専門学校
香川高等専門学校
新居浜工業高等専門学校
弓削商船高等専門学校
高知工業高等専門学校

別表第2 コア校

徳島大学
香川大学
愛媛大学
高知大学

四国地区大学教職員能力開発ネットワーク規約(抄)

附 則

- 1 この規約は、平成20年10月18日から施行する。
- 2 この規約の施行後、最初に任命される第7条第1項の代表校の任期は、同条第3項の規定にかかわらず、平成23年3月31日までとする。
- 3 別表は、新たな加盟校があった場合等に適宜改訂を行うものとする。

共同事業契約書の変更合意について（案）

平成31年3月28日
ネットワーク総会決定

平成30年4月1日付けで締結した共同事業契約書は、四国地区大学教職員能力開発ネットワーク規約第4条第2項に基づき、平成31年4月1日付けで学校法人高知学園（高知リハビリテーション専門職大学）が四国地区大学教職員能力開発ネットワークに新規加盟するため、平成31年4月1日付けで下記のとおり変更するものとする。

記

変更前	変更後
<p>国立大学法人愛媛大学（愛媛大学）（以下「甲」という。）と国立大学法人徳島大学（徳島大学）、国立大学法人香川大学（香川大学）、国立大学法人高知大学（高知大学）、国立大学法人鳴門教育大学（鳴門教育大学）、香川県（香川県立保健医療大学）、公立大学法人愛媛県立医療技術大学（愛媛県立医療技術大学）、高知県公立大学法人（高知県立大学、高知工科大学及び高知短期大学）、学校法人四国大学（四国大学及び四国大学短期大学部）、学校法人村崎学園（徳島文理大学及び徳島文理大学短期大学部）、学校法人四国高松学園（高松大学及び高松短期大学）、学校法人聖カタリナ学園（聖カタリナ大学及び聖カタリナ大学短期大学部）、学校法人松山大学（松山大学及び松山短期大学）、学校法人松山東雲学園（松山東雲女子大学及び松山東雲短期大学）、学校法人徳島城南学園（徳島工業短期大学）、学校法人尽誠学園（香川短期大学）、学校法人今治明德学園（今治明德短期大学）、学校法人創志学園（環太平洋大学短期大学部）、学校法人高知学園（高知学園短期大学）、学校法人加計学園（岡山理科大学獣医学部）、学校法人河原学園（人間環境大学松山看護学部）、独立行政法人国立高等専門学校機構（阿南工業高等専門学校）、独立行政法人国立高等専門学校機構（香川高等専門学校）、独立行政法人国立高等専門学校機構（新居浜工業高等専門学校）、独立行政法人国立高等専門学校機構（弓削商船高等専門学校）、独立行政法人国立高等専門学校機構（高知工業高等専門学校）（以下合わせて「乙」という。）は、次の各条によって共同事業契約（以下「本契約」という。）を締結するものとする。</p>	<p>国立大学法人愛媛大学（愛媛大学）（以下「甲」という。）と国立大学法人徳島大学（徳島大学）、国立大学法人香川大学（香川大学）、国立大学法人高知大学（高知大学）、国立大学法人鳴門教育大学（鳴門教育大学）、香川県（香川県立保健医療大学）、公立大学法人愛媛県立医療技術大学（愛媛県立医療技術大学）、高知県公立大学法人（高知県立大学、高知工科大学及び高知短期大学）、学校法人四国大学（四国大学及び四国大学短期大学部）、学校法人村崎学園（徳島文理大学及び徳島文理大学短期大学部）、学校法人四国高松学園（高松大学及び高松短期大学）、学校法人聖カタリナ学園（聖カタリナ大学及び聖カタリナ大学短期大学部）、学校法人松山大学（松山大学及び松山短期大学）、学校法人松山東雲学園（松山東雲女子大学及び松山東雲短期大学）、学校法人徳島城南学園（徳島工業短期大学）、学校法人尽誠学園（香川短期大学）、学校法人今治明德学園（今治明德短期大学）、学校法人創志学園（環太平洋大学短期大学部）、学校法人高知学園（<u>高知リハビリテーション専門職大学及び</u>高知学園短期大学）、学校法人加計学園（岡山理科大学獣医学部）、学校法人河原学園（人間環境大学松山看護学部）、独立行政法人国立高等専門学校機構（阿南工業高等専門学校）、独立行政法人国立高等専門学校機構（香川高等専門学校）、独立行政法人国立高等専門学校機構（新居浜工業高等専門学校）、独立行政法人国立高等専門学校機構（弓削商船高等専門学校）、独立行政法人国立高等専門学校機構（高知工業高等専門学校）（以下合わせて「乙」という。）は、次の各条によって共同事業契約（以下「本契約」という。）を締結するものとする。</p>

「四国地区大学教職員能力開発ネットワーク」役員等の改選について（案）

四国地区大学教職員能力開発ネットワーク規約（以下「規約」という。）第5条、第7条、第8条及び第12条に基づき、2019（平成31）年4月1日から2021年3月31日までの2年間の役員等の任期満了に伴う以下1～5の改選を行う。

なお、コア校は、規約別表第2のとおり、徳島大学、香川大学、愛媛大学及び高知大学を指す。

1. 代表校／事務局（規約第7条及び第12条関係）
愛媛大学
2. 会長（規約第8条第1項、第2項、第5項及び第6項関係）
愛媛大学長
3. 副会長（規約第8条第1項、第3項、第5項及び第7項関係）
徳島大学長、香川大学長及び高知大学長
4. 監事（規約第8条第1項、第4項、第5項及び第8項関係）
香川県立保健医療大学長及び松山大学長・松山短期大学長
5. 企画・実施統括者（規約第8条第1項、第2項、第5項及び第6項関係）
愛媛大学教育・学生支援機構教育企画室長

【参考】四国地区大学教職員能力開発ネットワーク規約（抄）

（コア校）

第5条 加盟校のうち、別表第2に定める大学をコア校とする。

（代表校）

第7条 コア校のうち、1校をSPODの代表校とする。

2 代表校は、コア校の互選により選出する。

3 代表校の任期は2年とし、再任を妨げない。

（会長、副会長、監事及び企画・実施統括者）

第8条 SPODに、会長（1名）、副会長（3名）、監事（2名）及び企画・実施統括者（1名）を置く。

2 会長及び企画・実施統括者は、代表校から選出する。

3 副会長は、代表校を除くコア校から選出する。

4 監事は、コア校を除く加盟校から選出する。

5 会長、副会長、監事及び企画・実施統括者の任期は、2年とする。ただし、再任を妨げない。

6 会長は、SPODを代表する。

7 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるとき又は会長が欠けたときは、その職務を代行する。

8 監事は、会計を監査する。

9 企画・実施統括者は、SPOD活動に係る企画及び実施を統括する。

10 補欠による会長、副会長、監事及び企画・実施統括者の任期は、前任者の残任期間とする。（事務局）

第12条 SPODの事務局は、代表校に置き、加盟校の協力を得て運営にあたる。

別表第2 コア校

徳島大学
香川大学
愛媛大学
高知大学

「四国地区大学教職員能力開発ネットワーク」における監事の選出について（案）

四国地区大学教職員能力開発ネットワーク規約第8条に基づく監事の改選にあたっては、「コア校を除く加盟校」から2名選出（任期2年）することとしているため、以下の選出方法により実施する。

(1) 選出基準（平成27年3月27日開催ネットワーク総会承認）

以下①と②を組み合わせる。

- ① 設置形態のバランスを考慮し、コア校を除く国立又は公立（A）、私立（B）、高専（C）から2名を選出する。4年間でA～C全ての設置形態から選出されるようにする。
- ② 地域バランスを配慮し、2名を選出する。4年間で全ての県から選出されるようにする。

(2) 監事の選出方法（平成27年3月27日開催ネットワーク総会承認）

ネットワークコア運営協議会で検討し、推薦する。

(ネットワークコア運営協議会での審議結果)

監事推薦について

- ・平成31年1月16日（水）開催のネットワークコア運営協議会において検討を行った。
- ・5期目（2019（平成31）年度～2020年度）の監事については、選出基準①より、国立又は公立及び私立、②より香川県及び愛媛県から選出することとした。
- ・第4期までの状況を考慮し、香川県立保健医療大学（香川県・公立）及び松山大学・松山短期大学（愛媛県・私立・大学と短大が併設）を推薦することとした。
- ・次期監事については、平成31年3月28日（木）開催予定の平成30年度ネットワーク総会の議を経て決定することを確認した。
- ※1期目 松山東雲女子大学・短期大学（愛媛県・私立・大学と短大が併設）、香川高等専門学校（香川県・高専）
- 2期目 鳴門教育大学（徳島県・国立）、高知県立大学（高知県・公立）
- 3期目 高松大学（香川県・私立・大学と短大が併設）、愛媛県立医療技術大学（愛媛県・公立）
- 4期目 徳島文理大学・徳島文理大学短期大学部（徳島県・私立・大学と短大が併設）、高知工業高等専門学校（高知県・高専）

【参考】

「四国地区大学教職員能力開発ネットワーク」における監事の選出について（抄）（平成27年3月27日開催ネットワーク総会承認）

(1) 選出基準

以下①と②を組み合わせる。

- ①設置形態のバランスを考慮し、コア校を除く国立又は公立（A）、私立（B）、高専（C）から2名を選出する。4年間でA～C全ての設置形態から選出されるようにする。
- ②地域バランスを配慮し、2名を選出する。4年間で全ての県から選出されるようにする。

(2) 監事の選出方法（平成27年3月27日開催ネットワーク総会承認）

ネットワークコア運営協議会で検討し、推薦する。

「四国地区大学教職員能力開発ネットワーク」規約（抄）

（会長、副会長、監事及び企画・実施統括者）

第8条 SPODに、会長（1名）、副会長（3名）、監事（2名）及び企画・実施統括者（1名）を置く。

- 2 会長及び企画・実施統括者は、代表校から選出する。
- 3 副会長は、代表校を除くコア校から選出する。
- 4 監事は、コア校を除く加盟校から選出する。
- 5 会長、副会長、監事及び企画・実施統括者の任期は、2年とする。ただし、再任を妨げない。
- 6 会長は、SPODを代表する。
- 7 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるとき又は会長が欠けたときは、その職務を代行する。
- 8 監事は、会計を監査する。
- 9 企画・実施統括者は、SPOD活動に係る企画及び実施を統括する。
- 10 補欠による会長、副会長、監事及び企画・実施統括者の任期は、前任者の残任期間とする。

「四国地区大学教職員能力開発ネットワーク」役員名簿（案）

任 期 : 2019（平成31）年4月1日～2021年3月31日

（平成31年4月1日現在）

会 長	大橋 裕一	愛媛大学長
副 会 長	野地 澄晴	徳島大学長
副 会 長	笥 善行	香川大学長
副 会 長	櫻井 克年	高知大学長
監 事	井伊 久美子	香川県立保健医療大学長
監 事	溝上 達也	松山大学長・松山短期大学長
企画・実施統括者	小林 直人	愛媛大学学長特別補佐 教育・学生支援機構 教育企画室長

平成31年度SPOD事業計画（案）

1. SPOD共通事業

- ・ SPODフォーラム
2019年8月28日（水）～30日（金）（3日間）
開催場所：愛媛大学
「全体テーマ：大学教育の組織力」
トップリーダーセミナーを併せて開催
- ・ SPOD内講師派遣（加盟校単位 各1回 計26回） 開催場所：各加盟校
原則として、1法人あたり1回とする。ただし、高等専門学校については、1校あたり1回とする。
- ・ FD・SDに関する調査研究
- ・ SPOD将来構想ワーキンググループ
- ・ 情報提供サービス
 - ①研修プログラムガイド2019の発行（年1回、リーフレット及びホームページ掲載）
 - ②平成31年度SPOD活動報告書の発行（年1回、冊子及びホームページ掲載）
 - ③SPODホームページの管理・更新
 - ④SPODメールマガジンの発行（月1回程度）
- ・ その他コア運営協議会で承認された事業、プログラム等

2. FD事業

- ・ FD担当者研修 開催場所：愛媛大学
SPODフォーラム2019において開催
- ・ 新任教員研修（年5回）の実施・公開 開催場所：各コア校（愛媛大学は2回実施）
- ・ ティーチング・ポートフォリオ作成ワークショップ（年2回）の公開・実施
開催場所：徳島大学，愛媛大学
- ・ 各種FDプログラムの開発・実施 開催場所：各加盟校
研修プログラムガイド2019に掲載したプログラム

3. SD事業

- ・大学人・社会人としての基礎力養成プログラム（年4回）
開催場所：香川大学，愛媛大学
レベルⅠ（新任職員研修） 1回（香川大学）
レベルⅠ 1回（愛媛大学）
レベルⅡ 1回（愛媛大学）
レベルⅢ 1回（愛媛大学）
主担当：SPOD事務局 協力校：香川大学，愛媛大学
- ・職務別能力開発研修（年5回）
SPODフォーラム2019等において開催
主担当：SPOD事務局 協力校：愛媛大学
- ・次世代リーダー養成ゼミナール（年4回）
開催場所：愛媛県，徳島県，高知県
主担当：SPOD事務局 協力校：各コア校
- ・職員のための講師養成講座（年1回）開催場所：愛媛大学
SPODフォーラム2019において開催
- ・各種SDプログラムの開発・実施 開催場所：各加盟校
研修プログラムガイド2019に掲載したプログラム

4. SPOD運営

- ①総会（年1回）
- ②ネットワークコア運営協議会（月1回程度）
- ③事業評価委員会（書面開催）（年1回）
- ④監査（年1回）
- ⑤その他
 - i. FD／SD分科会
 - ・FD分科会（年1回） 総会と同日開催
 - ・SD分科会（年1回） 総会と同日開催
 - ii. SPOD加盟校県内会議 四国各県において必要に応じて実施

「四国地区大学教職員能力開発ネットワーク」

事業評価委員会委員名簿

任 期：2019（平成31）年4月1日～2021年3月31日

高野 修 広島経済大学 教育・学習支援センター センター長
(大学行政管理学会常務理事)

佐藤 浩章 大阪大学 全学教育推進機構教育学習支援部 准教授

桂 良彦 大学コンソーシアム京都 事務局長

(計3名 敬称略)

※下線部が変更箇所

【参考】

「四国地区大学教職員能力開発ネットワーク」事業評価委員会委員

(H29. 4. 1～H31. 3. 31)

福島 一政 追手門学院大学 副学長

佐藤 浩章 大阪大学 全学教育推進機構教育学習支援部 准教授

桂 良彦 大学コンソーシアム京都 事務局長

「四国地区大学教職員能力開発ネットワーク」(SPOD) 事業評価委員会要項 (抄)

(組織及び運営)

第3条 評価委員会は、大学等におけるFD/S D活動に造詣が深い者をもって組織する。ただし、委員はSPOD加盟校以外の機関に所属する者とする。

2 前項の委員は、ネットワークコア運営協議会（以下、「運営協議会」という。）の議を経て、会長が委嘱する。

各加盟校におけるFD／SD活動の取組報告

平成30年度四国地区大学教職員能力開発ネットワーク活動報告書
(74ページ～101ページ) により報告

平成30年度四国地区大学教職員能力開発ネットワーク活動報告書 6. 平成30年度各加盟校の取組報告 目次

徳島県

徳島大学（国）	74
鳴門教育大学（国）	75
四国大学・四国大学短期大学部（私）	76
徳島文理大学・徳島文理大学短期大学部（私）	77
徳島工業短期大学（私）	78
阿南工業高等専門学校（国）	79

香川県

香川大学（国）	80
香川県立保健医療大学（公）	81
高松大学・高松短期大学（私）	82
香川短期大学（私）	83
香川高等専門学校（国）	84

愛媛県

愛媛大学（国）	85
愛媛県立医療技術大学（公）	86
聖カタリナ大学・聖カタリナ大学短期大学部（私）	87-88
松山大学・松山短期大学（私）	89
松山東雲女子大学・松山東雲短期大学（私）	90
今治明德短期大学（私）	91
環太平洋大学短期大学部（私）	92
岡山理科大学獣医学部（私）	93
人間環境大学松山看護学部（私）	94
新居浜工業高等専門学校（国）	95
弓削商船高等専門学校（国）	96

高知県

高知大学（国）	97
高知県立大学・高知短期大学（公）	98
高知工科大学（公）	99
高知学園短期大学（私）	100
高知工業高等専門学校（国）	101

